

# 2016年度以前入学／法（国際政治学科除く）・文・経営学部生用 再履修ガイド

留級した学生は、P.8「留級した学生が外国語科目を履修する場合」を参照のうえ履修方法を確認してください。

## I. <英語>再履修の方法

「再履修クラス」と「外部英語能力試験のスコアによって未修得単位を修得」の2つの方法があります。再履修する科目が2科目以上ある場合は2つの方法を組み合わせることもできます。

※ 2018年度より、英語選択科目による必修科目への代替制度は廃止となりました。

### 1. 再履修クラス（土曜3・4時限）を履修する場合

必ず指定されたクラスを受講してください。指定クラスは3月30日（木）に掲示板に発表予定です。詳細は[市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板](#)にて確認してください。

### 2. 外部英語能力試験のスコアによって未修得単位を修得する場合

定められた期間内に、TOEFL®、TOEFL iBT® Special Home Edition、TOEIC®、IELTSを受験し、一定スコアを取得した結果を提出することにより英語必修科目の未修得単位が認定されます。英語必修科目の未修得単位を超えた認定はされません。この認定には履修登録が必要であり、評価は「RR」（認定）となります。

- ※ この措置は、前年度英語必修科目が不合格または未履修だった場合にのみ適用されます。1年次生はこの措置を申請することはできません。
- ※ 留級して1年次生となった学生もこの措置を申請することはできません。留級して1年次生となった学生はクラス授業を受講してください。「留級した学生が外国語科目を履修する方法」を参照してください。
- ※ 教員免許取得のために英語の単位を修得する場合はこの方法は適用できません。「再履修クラス」で履修してください。

#### (1) スコア認定の対象となる試験

TOEFL® (iBT)、TOEFL iBT® Special Home Edition、TOEIC® (Listening & Reading)、IELTS(アカデミック・モジュール)

- ※ ただし TOEFL® - ITP、TOEIC® - IP によるスコア認定はできません。試験の実施日程や受験方法は各自インターネットなどで調べてください。

#### (2) スコアの有効期間

2023年4月1日以降に実施されたもので、2024年1月22日（月）までにスコアの証明書が提出できるもの。

#### (3) 申請手続の流れ

##### ① 履修登録をする。

P.3【英語スコア認定：登録番号一覧】から修得したい科目を確認し、2023年度春学期の所属学部の履修登録期間中に、記載されている登録番号で履修登録してください。履修登録をしていない場合は単位認定されません。この時点でスコアを取得している必要はありませんが、試験のスケジュールやレベルを確認し、十分に検討してから登録してください。

② 申請をする。

2023年12月13日(火)～2024年1月22日(月)の期間中に、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板(12月公開予定の「2023年度外部英語能力試験のスコアによる未修得単位取得について」)に掲載する申請用 Google フォームより、スコアの証明書(必ず本人写真が掲載されているもの)を添付して申請してください。履修登録をしていますが、上記指定期間内に申請しない場合、単位は認められません。申請しない場合の成績は「E」評価となります。また、申請してもスコアが達しない場合・スコアを添付していない場合は「D」評価となります。

(4) **注意事項**

- 同じ科目について「再履修クラス」と「スコア認定」を併用することはできません。2科目以上再履修する場合は1つの科目について1つの方法であれば、2つの方法を併用することができます。

〈例1〉再履修する科目が1科目「English 2 I」のみの場合

再履修の方法は「英語選択科目授業の履修」と「スコア認定」のいずれか(併用は不可)。

〈例2〉再履修する科目が2科目「English 2 I」「English 2 II」の場合

「English 2 I」は「英語選択科目授業の履修」、「English 2 II」は「スコア認定」というように2科目を別々の方法で再履修することが可能。

※ 1つの科目を2つの方法で再履修することはできない。

※ 2つの科目を2科目とも同じ方法で再履修してもよい。

- 履修登録期間終了後、年度途中で「スコア認定」を登録したり、登録を取り消したりすることはできません。また、秋学期の履修登録変更申請においても、スコア認定にかかわる履修登録の追加・変更・削除はできません。

- 取得したスコアが、履修登録した科目数(単位数)のスコア基準よりも低い場合は、P.3【外部英語能力試験 スコア認定単位換算表】に表記されている科目数(単位数)だけ認定されます(認定する科目は大学が決定します)。認定されなかった分の科目は「D」評価として成績通知書に表記されます。

〈例〉2科目履修登録したが1科目分のスコアしか取得できなかった。

→1科目分のみ認定

- 修得したスコアが高くても履修登録していない科目を認定することはできません。

〈例〉2科目履修登録したが3科目分のスコアを取得できた。→2科目分のみ認定。

- スコアの証明書は本人写真が掲載されたもののみ認めます。本人写真の掲載されていない証明書は認めません。

【外部英語能力試験 スコア認定単位換算表】

換算表は今年度用です。次年度以降は変更になる場合があります。

		認定科目数(単位数)
Aスコア	TOEFL® iBT 88点以上, TOEIC® 800点以上, IELTS 6.5以上	4科目(4単位)まで認定
Bスコア	TOEFL® iBT 71点以上, TOEIC® 700点以上, IELTS 6.0以上	3科目(3単位)まで認定
Cスコア	TOEFL® iBT 57点以上, TOEIC® 600点以上, IELTS 5.5以上	2科目(2単位)まで認定
Dスコア	TOEFL® iBT 45点以上, TOEIC® 500点以上, IELTS 5.0以上	1科目(1単位)まで認定
Dスコア未満	TOEFL® iBT 44点以下, TOEIC® 499点以下, IELTS 4.5以下	認定不可

## 【英語スコア認定：登録番号一覧】

スコア認定で 修得したい科目	履修登録確認通知書・ 成績通知書での表記	曜日・時限	登録番号	認定単位数
English1Ⅰ	English1Ⅰ（スコア認定）	集中・その他	E0751	1単位
English1Ⅱ	English1Ⅱ（スコア認定）	集中・その他	E0752	1単位
English2Ⅰ	English2Ⅰ（スコア認定）	集中・その他	E0753	1単位
English2Ⅱ	English2Ⅱ（スコア認定）	集中・その他	E0754	1単位

## II. <諸外国語>再履修の方法

「クラス授業で再履修」するケースと、「諸外国語補講科目を代替し未修得単位を修得」するケース、または「諸外国語選択科目を代替し未修得単位を修得」するケースの3つの方法があります。再履修する科目が2科目以上ある場合は2つの方法を組み合わせることもできます（一部科目除く）。

### 1. クラス授業で再履修する場合

- ・春学期科目（〇〇語Ⅰ）を修得できていない場合は春学期科目のクラス授業を、秋学期科目（〇〇語Ⅱ）を修得できていない場合は秋学期科目のクラス授業を再履修します。
- ・履修先のクラスは、[WEB シラバス](#)で、法（国際政治学科除く）・文・経営のいずれかの学部が指定されたクラスを選んでください。必ずしもご自身の所属学部・クラスが指定された授業のみを履修する必要はありません。また、春・秋学期で指定学部・クラスが異なる授業を履修することも可能です。

〈例〉経営学部2年M組の学生が、「スペイン語1Ⅰ」（春学期）は法学部1年N組の授業を履修し、「スペイン語1Ⅱ」（秋学期）は文学部1年A組の授業を履修する。

- ・ただし、中国語・朝鮮語は、〇〇語1と〇〇語2がリレー授業（授業の進度を合わせている）のため、〇〇語1、〇〇語2のいずれも再履修する場合、同じ学部・クラスの授業を履修する必要があります。特に、[中国語1・2](#)については、[未修得科目に応じて再履修パターンが決まっていますので、P.5「4. 中国語1・2の再履修方法について」を必ず確認してください。](#)

〈例〉経営学部2年M組の学生が、「朝鮮語1Ⅰ」（春学期）を法学部1年A組の授業を履修するなら、「朝鮮語2Ⅰ」（春学期）も法学部1年A組の授業を履修する。

- ・履修に際しては、**担当教員からの受講許可が必要です。**[春学期初回授業前々日までに、学習支援システムで履修を希望する春・秋学期授業に仮登録してください。](#)秋学期科目の場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください。受講が許可された場合は、春学期初回授業前日に、担当教員が受講許可者の学生証番号を学習支援システムの「お知らせ」に掲載します。
- ・授業開始後2週目終了後でも受講クラスが決まらない学生は、事務にて個別対応します。[ILAC 掲示板](#)に掲載されるGoogleフォームで申請してください。
- ・いずれの科目も、所属学部の春学期履修登録期間中に、必ず自分で履修登録を行ってください。

### 2. 「諸外国語補講科目」または「諸外国語選択科目」を代替する場合

- ・諸外国語補講科目（諸外国語1・2・3のみ）または諸外国語選択科目（諸外国語3・4・5のみ）を履修し必修科目に代替することで、必修諸外国語科目の単位を修得することができます。
- ・対象の[諸外国語補講科目](#)、[諸外国語選択科目](#)は左記のリンク先より確認してください。な

お、補講科目は諸外国語 1・2・3 のみ（諸外国語 3 は中国語・スペイン語のみ）、選択科目は諸外国語 3・4・5 のみ代替可能です。

- 履修に際しては、担当教員からの受講許可が必要です。春学期初回授業前々日までに、学習支援システムで履修を希望する春・秋学期授業に仮登録してください。秋学期科目の場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください。受講が許可された場合は、春学期初回授業前日に、担当教員が受講許可者の学生証番号を学習支援システムの「お知らせ」に掲載します。
- いずれの科目も、所属学部の春学期履修登録期間中に、必ず自分で履修登録を行ってください。なお、代替する必修科目に応じて、履修登録の際の授業コードが異なりますので、それぞれ補講科目、諸外国語選択科目（リンク先）のコード一覧より、該当のコードを確認して履修登録してください。

### 3. 語学別再履修方法一覧

#### (1) 諸外国語 1・2

諸 外 国 語  1 ・ 2	日本語 1 I / II 日本語 2 I / II	◆クラス授業で再履修してください。
	中国語 1 I / II 中国語 2 I / II	◆P.5「中国語 1・2の再履修方法について」を参照してください。
	朝鮮語 1 I / II 朝鮮語 2 I / II	◆クラス授業で再履修してください。 ※朝鮮語 1・2のいずれも再履修する場合は、同じ学部・クラスの指定になるよう履修してください。
	ドイツ語 1 I / II ドイツ語 2 I / II フランス語 1 I / II フランス語 2 I / II ロシア語 1 I / II ロシア語 2 I / II スペイン語 1 I / II スペイン語 2 I / II	◆クラス授業で再履修する方法と、「諸外国語補講科目」を代替する方法があります。再履修する科目が2科目以上ある場合は2つの方法を組み合わせることもできます。  ■補講科目で履修する場合（代替） 履修登録の際は <a href="#">こちら</a> で該当のコードを確認してください。  <ドイツ語・フランス語・ロシア語> WEB シラバスより「ドイツ語補講 1-I / II」「ドイツ語補講 2-I / II」「フランス語補講 1-I / II」「フランス語補講 2-I / II」、「ロシア語補講 1-I / II」、「ロシア語補講 2-I / II」を探して履修してください。 (例)「〇〇語 1 I」を履修する場合は「〇〇語補講 1-I」を履修します。I（春学期科目）の再履修は春学期、II（秋学期科目）の再履修は秋学期でしか履修できません。  <スペイン語> WEB シラバスより「スペイン語補講 1・2 I / II」を探して履修してください。この授業を履修することによってスペイン語 1、スペイン語 2のいずれかの科目の単位を修得することができます。ただし、I（春学期科目）の再履修は春学期、II（秋学期科目）の再履修は秋学期でしか履修できません。

(2) 諸外国語 3・4・5

諸 外 国 語  3 ・ 4 ・ 5	<パターン①>の 〇〇語 3 I / II		<p>■クラス授業で再履修する場合</p> <p>WEB シラバスより、該当科目（「重点」ではない通常のクラス授業）を選び履修してください。学部・クラスの指定はありません。</p> <p>■補講科目で再履修する場合（代替）</p> <p>&lt;フランス語・中国語・スペイン語のみ&gt;</p> <p>WEB シラバスより「フランス語補講 3 I / II」「中国語補講 3 I / II」「スペイン語補講 3 I / II」を探して履修してください。履修登録の際は<a href="#">こちら</a>で該当のコードを確認してください。</p> <p>■「諸外国語選択科目」で再履修する場合（代替）</p> <p><a href="#">諸外国語選択科目</a>（リンク先）より対象科目を確認し、該当のコードで履修登録してください。※日本語除く。</p> <p>◇◆注意「中国語 3 I / II」について◆◇</p> <p>2019 年度より、「中国語 3 I / II」の再履修方法は、「補講クラスを受講（「中国語補講 3 I / II」を受講）する」方法、または「『クラス授業以外で履修できる 4 群科目』で代替する」方法のみとなりました。「クラス授業で履修する」方法では再履修できません。十分注意してください。</p>
	日本語 3 I / II 日本語 4 I / II		
	<パターン②> <パターン③> の〇〇語 3 I / II	フランス語	<p>■クラス授業で再履修する場合</p> <p>WEB シラバスより、「〇〇語 3 I / II・重点」を探して履修してください。</p> <p>■補講科目で再履修する場合（代替）</p> <p>&lt;フランス語のみ&gt; WEB シラバスより「フランス語補講 3 I / II」を探して履修してください。履修登録の際は<a href="#">こちら</a>で該当のコードを確認してください。</p> <p>■「諸外国語選択科目」で再履修する場合（代替）</p> <p><a href="#">諸外国語選択科目</a>（リンク先）より対象科目も確認し、該当のコードで履修登録してください。</p>
		朝鮮語	
		ドイツ語 ロシア語 スペイン語	<p>■クラス授業で再履修する場合</p> <p>WEB シラバスより、該当科目（「重点」ではない通常のクラス授業）を選び履修してください。</p> <p>■補講科目で再履修する場合（代替）</p> <p>&lt;中国語・スペイン語のみ&gt; WEB シラバスより「中国語補講 3 I / II」「スペイン語補講 3 I / II」を探して履修してください。履修登録の際は<a href="#">こちら</a>で該当のコードを確認してください。</p> <p>■「諸外国語選択科目」で再履修する場合（代替）</p> <p><a href="#">諸外国語選択科目</a>（リンク先）より対象科目も確認し、該当のコードで履修登録してください。</p>
		中国語	
	<パターン②③>の 〇〇語 4 I / II		<p>■クラス授業で再履修する場合</p> <p>WEB シラバスより、「〇〇語 4 I / II・重点」を探して履修してください。</p> <p>■「諸外国語選択科目」で再履修する場合（代替）</p> <p><a href="#">諸外国語選択科目</a>（リンク先）より対象科目も確認し、該当のコードで履修登録してください。</p>
	<パターン③>の 〇〇語 5 I / II		<p>&lt;フランス語・ロシア語&gt;クラス授業を履修します。WEB シラバスより、「〇〇語 5 I / II・重点」を探して履修してください。</p> <p>&lt;ドイツ語・中国語・スペイン語・朝鮮語&gt; 諸外国語選択科目を代替する形で履修します。<a href="#">諸外国語選択科目</a>（リンク先）より対象科目を確認し、該当のコードで履修してください。</p>

#### 4. 中国語1・2の再履修方法について

「中国語1Ⅰ」「中国語1Ⅱ」「中国語2Ⅰ」「中国語2Ⅱ」のいずれかを再履修する場合は、以下のパターンにしたがって受講してください。中国語1と中国語2はリレー方式で授業を行うため、このパターンに合わない方法で受講すると、試験などで不利になることがあります。

##### ■中国語の単位修得状況と再履修パターンの対照表

自分の単位修得状況が以下のどれに当てはまるかをよく確認して、A~Hのうち該当するパターンで受講してください。

履修に際しては、担当教員からの受講許可が必要です。春学期初回授業前々日までに、学習支援システムで履修を希望する春・秋学期授業に仮登録してください。秋学期科目のみの場合も必ず春学期初回授業前日までに仮登録をしてください。受講が許可された場合は、春学期初回授業前日に、担当教員が受講許可者の学生証番号を学習支援システムの「お知らせ」に掲載します。

↓たて方向に見て、自分がどのパターンなのか確認してください。↓

「-」は単位修得済み（合格）、「再履」は単位未修得（不合格=再履修）

中国語1Ⅰ（春学期）	-	-	-	再履	-	再履	-	再履	-	再履	再履	再履	再履	-	再履
中国語1Ⅱ（秋学期）	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	-	再履	再履	-	再履	再履
中国語2Ⅰ（春学期）	-	再履	-	-	再履	-	再履	-	-	再履	再履	-	再履	再履	再履
中国語2Ⅱ（秋学期）	再履	-	-	-	再履	-	-	再履	再履	-	-	再履	再履	再履	再履
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
再履修のパターン→	A	B	A	B	C	C	C	C	D	E	F	G	F	G	H

##### ■再履修の方法（A~Hパターン）

A	<b>秋学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講</b> 秋学期に「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。
B	<b>春学期に『中国語補講※学部指定あり』を受講</b> 春学期に「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。
C	<b>春学期、秋学期ともに『中国語補講※学部指定あり』を受講</b> 春学期、秋学期ともに「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。
D	<b>秋学期にクラス授業を受講</b> 法文堂のクラス授業のなかで、 <u>同じクラスが指定されている</u> 「中国語1Ⅱ」と「中国語2Ⅱ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。 例）法学部1年C組の「中国語1Ⅱ」を受講する場合は「中国語2Ⅱ」も法学部1年C組の授業を受講する
E	<b>春学期にクラス授業を受講</b> 法文堂のクラス授業のなかで、 <u>同じクラスが指定されている</u> 「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。 例）法学部1年C組の「中国語1Ⅰ」を受講する場合は「中国語2Ⅰ」も法学部1年C組の授業を受講する
F	<b>春学期はクラス授業を受講、秋学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講</b> <春学期>法文堂のクラス授業のなかで、 <u>同じクラスが指定されている</u> 「中国語1Ⅰ」と「中国語2Ⅰ」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。 例）法学部1年C組の「中国語1Ⅰ」を受講する場合は「中国語2Ⅰ」も法学部1年C組の授業を受講する <秋学期>「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。

G	<p><b>春学期は『中国語補講※学部指定あり』を受講、秋学期はクラス授業を受講</b></p> <p>＜春学期＞「中国語補講」を受講する。履修登録は、修得したい科目に該当する登録番号（WEB 掲示板参照）で登録すること。</p> <p>＜秋学期＞法文営のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語 1 II」と「中国語 2 II」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。</p> <p>例）法学部 1 年 C 組の「中国語 1 II」を受講する場合は「中国語 2 II」も<u>法学部 1 年 C 組</u>の授業を受講する</p>
H	<p><b>春・秋学期ともにクラス授業を受講</b></p> <p>＜春学期＞法文営のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語 1 I」と「中国語 2 I」の組み合わせを選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。</p> <p>例）法学部 1 年 C 組の「中国語 1 I」を受講する場合は「中国語 2 I」も<u>法学部 1 年 C 組</u>の授業を受講する</p> <p>＜秋学期＞法文営のクラス授業のなかで、<u>同じクラスが指定されている</u>「中国語 1 II」と「中国語 2 II」を選び、受講する（自分の学部・クラスでなくても可）。春学期初回授業前日までに履修したい授業の仮登録を学習支援システムで行ってください。その後受講可否を学習支援システム（「お知らせ」）で教員より通知します。その後自分で履修登録を行ってください。</p> <p>例）法学部 1 年 C 組の「中国語 1 II」を受講する場合は「中国語 2 II」も<u>法学部 1 年 C 組</u>の授業を受講する</p>

※ 補講クラスの登録番号は[こちら](#)から確認してください。

### Ⅲ. 留級した学生が外国語科目を履修する場合

留級した学生が未修得の外国語科目を履修する場合は以下の表に従って履修してください。

※前年度までに単位を修得した科目は履修する必要はありません。

※未修得の科目は、前年度に履修（受講）したかどうかにかかわらず以下の表に従ってください。

#### < 1年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

English 1 I / II English 2 I / II	クラス指定があります。クラス分けは WEB 掲示板で発表します。
〇〇語 1 I / II 〇〇語 2 I / II	各学部履修の手引き<履修上の注意>「2. 外国語の履修（市ヶ谷基礎科目 4 群）」の「 <u>クラス授業で外国語必修単位を修得する場合</u> 」に記載のとおり履修してください。

#### < 2年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

English 1 I / II English 2 I / II	前ページまでの「外国語必修科目の再履修」の記載のとおり履修してください。
〇〇語 1 I / II 〇〇語 2 I / II	
〇〇語 3 I / II 〇〇語 4 I / II 〇〇語 5 I / II	各学部履修の手引き<履修上の注意>「2. 外国語の履修（市ヶ谷基礎科目 4 群）」の「 <u>クラス授業で外国語必修単位を修得する場合</u> 」または「 <u>クラス授業以外で外国語必修単位を修得する場合</u> 」の記載のとおり履修してください。

#### < 3年次留級生が外国語必修科目を履修する場合 >

English 1 I / II English 2 I / II	前ページまでの「外国語必修科目の再履修」の記載のとおり履修してください。
〇〇語 1 I / II	
〇〇語 2 I / II	
〇〇語 3 I / II	
〇〇語 4 I / II 〇〇語 5 I / II	